

2023(令和5)年

6月号

ツバメが家の中で巣を作り始めた。さあかた中は困ると、外に逃がした。久々の巣作りだったのが

shin koh

心耕

しんこう

西光寺々報

今月の行事

十二日(月)はじめの一步

午後一時より、七高僧DVD上映会

二十三日(水)永代経法要

午後一時より、法話 三島さん・任私

二十五日(金)物故者追悼法要

午後一時より、法話 若存取の節談説教

勉強会

壮年会七日 午後六時より
婦人会十二日 午前十時より

写経会

九日(金) 午後一時より

草取り

十八日(日) 午前十時より

おみがさ

二十一日(水) 午前十時より

寺力

十一日(日) 午前十時より

つぼ押し

昼食 小まこと学舎のパン子制

ヨガ

六日・二十日(火)

午後一時より、よく寝ます。

お朝事

毎朝六時半から勤行をしています。

仏教と他の宗教の違い
仏教は自らが変わると見える
世界が変わるといいます。

ある家に雷オヤジが居

ました。家事も一切しませ

お連発合が認知症になり

ました。介護生活初めて

家事をして、その大変さを

知りました。大変さわか

ると周りには有難うと言

ようになりました。そして

離れていって子供達が戻

共に支えたのです。

今月は東内が多です

はじめの一步第三期

お寺の林間学校

節談築地二泊ツアー

詳細は中に、としとし二層下

法座案内

十二日(月) 午後一時〜

七高僧DVD上映会後編

正信偈の後半に登場する七高僧をわかりやすく紹介しているDVDを見ます。

善導大師、源信和尚、法然聖人です。

二十三、二十四日(金・土)

永代経法要 十三時〜十五時

法話・二十三、二島さん 二十四日、住職
仏法が聞ける場を永く保てるように勤める法要です。三島さん、住職が法話を勤めます。

二十五日(日) 十三時〜十五時

物故者追悼法要

法話・若住職(節談説教)

「むなしくすぐるものぞなき―源光寺由来」
昨年度、往生された方の追悼法要です。共にいのちのありようを考える法要です。

*感染症対策へのご協力をお願いいたします。

各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半〜七時、お勤めをしています。日々のお参り、命日などにお参り下さい。

・草取り

十八日(日) 八時〜九時 お手伝い歓迎

・写経会

九日 十三時〜十五時 どなたでも♪

・壮年会・婦人会主催の勉強会

壮年会 七日 七月は五日 十八時〜
婦人会 十二日 十時〜

・おみがき

仏具を磨きます。作業は難しくありません。一緒に本堂をきれいにしましょう。

日時 二十一日 十時〜十二時 弁当付

・西光寺チャンネル新作動画配信

YOUTUBE チャンネルにて新作動画「不断煩悩得涅槃―龍王と盗賊―」の動画を配信！
西光寺チャンネルで検索か、
以下QRで



みんなの寺カフェ

梅雨の不調を乗り越えよう

舌診
ツボ押し
お茶やスナック

6月11日(日)10:00~12:30

会費:大人 500円/子ども(18歳未満)無料 *昼食付

予約締切: 6/10 *予約制

場所: 西光寺 市原市銀田729-1

連絡先: 0430-22-7112 持ち物: 手袋

*感染症予防にご協力をお願いします。

主催: みんなの寺カフェ 共催: 西光寺子ども会

・「みんなの寺カフェ」六月はツボ押し!

世代や立場を超えて集う寺カフェ
内容 ツボ押し・舌診

講師 あいたもえか(鍼灸りら)

日時 十一日(日) 十時〜十二時半

昼食付 大人五〇〇円 子ども無料

予約制 お寺まで 締切 十一日

・「はじめてのヨガ@西光寺」

開催日 第一、第三、第五火曜日

時間 十三時〜十四時半

会費 一回千円 予約不要

持ち物 ヨガマット

・納骨堂・合葬墓進捗状況

先日、役所の方と話し合いを持ちました。境内仮登記の土地を本登記にしているから申請となります。いつでも申請できるように、図面を依頼している段階です。

行水

暑い夏、庭先で小さなプールできやつきやきやつきやと喜ぶ



娘のキョつりは
奥入り
私のメロンは
で折れた
者

経蔵

身近な仏教用語ではありませんが、大きな寺院に行く
と時折「経蔵」という建物が



ありますので、この度「経蔵」を取り上げます。

「経蔵」には二つの意味があります。一つは、仏教の文献を

分類すると経・律・論の三種となります。経とはブツダの教え、

律とは戒律、論とは解釈のことです。これらの総称を三蔵とい

い、三蔵を究めた方を三蔵法師と呼びました。この三蔵の中の

経を「経蔵」といいます。ブツダの教えをまとめたものです。

二つ目の「経蔵」の意味は、漢字の通り「経」の収められて

いる「蔵」の事です。大きなお寺さんで「経蔵」という建物が

あれば、是非注目してください。情報が簡単には手に入らない

時代、お経を調べるときには、「経蔵」に調べにくるとい

ともありました。親鸞聖人がまさにそうです。茨城県笠間にあ

る稲田の草庵を拠点として、お経を調べるために鹿島神宮に通

われました。当時は神宮寺といい、「経蔵」があったからです。

五二歳の時に、「顕浄土真実教行証文類」の草稿本ができます。

この年を浄土真宗立教開宗の年とし、今年が八〇〇

年という記念の年であり、京都では大きな法要が勤

められました。

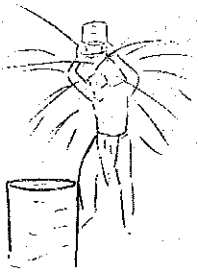
こんなところに

仏教用語

身近な仏教用語を紹介しています。



夏に湯につからず、さつと風呂から出たり、シャワーだけで済ますことを「カラスの行水」ともいいます。でも、夏も湯につかった方が、疲れがとれるそうですよ。



子供たち。夏の季語にもなっている「行水」が今回のテーマです。お経の中にも「行水」という言葉が出てきます。お釈迦様の言葉がそのまま残されていると言われる「長阿含経」の中には、「手に斟酌して食訖りて行水す」とあります。食事が終わった後、この当時は手で食事をしていましたから、手を洗う事を「行水」と言っていました。そこから、神仏に祈る時などに、身を水で洗い清めることを「行水」と言うようになりました。インドのガンジス川では、沐浴をする方がたくさんおられます。これも「行水」の派生でありましょう。

水で洗い清めることから、給湯器のない時代に、タライに湯水をためて体を洗う事を「行水」というようになりました。

浄土真宗はじめの一步 第3期生募集!

—阿弥陀経を学ぼう—

浄土真宗の基礎を知りたい、家でお経が読めるようになりたいと言う方におすすめの基礎を学ぶ講座です。第3期は、浄土真宗にて法事などで読まれることの多い阿弥陀経を学びます。初めての方でも1から学びますのでぜひお越しください。全10回を予定していますが、変更もあるかもしれません。

内容：読経（阿弥陀経）

阿弥陀経の内容

参加要項

参加資格：どなたでも（過去受講者も可）

参加費：1000円（申込時か初回時、テキスト代、記念品等）

時間：13:00～15:00

備考：8割以上の出席で卒業です。都合がつかない方は補講も致します。

会場：西光寺

連絡先：西光寺 0436-22-7412

回	日にち	内容	回	日にち	内容
1	2023/7/12 (水)	読み方	6	3/12 (火)	依正段 2
2	9/12 (火)	DVD	7	4/12 (金)	因果段
3	10/12 (木)	鳩摩羅什	8	5/12 (日)	證誠段
4	12/12 (火)	六事成就	9	6/12 (水)	流通分
5	2024/2/12 (月)	依正段 1	10	7/12 (金)	和讃
			卒業	未定	

----- 切り取り線 -----

申込用紙

氏名

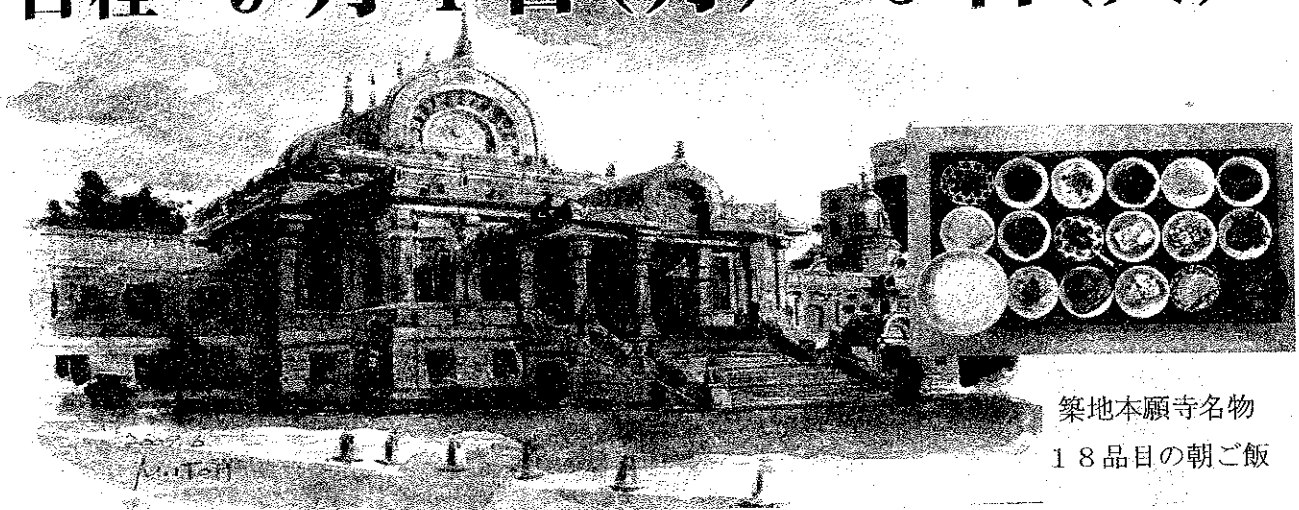
連絡先



西光寺仏婦仏壮合同企画

節談説教布教大会 & 築地本願寺カフェ朝食ツアー

日程 9月4日(月)~5日(火)



築地本願寺名物
18品目の朝ご飯

昨年、西光寺で開催された節談説教大会が、今度は新宿のお寺さんで開催されます。そこで、ツアーを企画し、TV等でも話題の築地本願寺カフェの朝食も食べに行くことになりました。先着20名までとさせていただきますので、お早めにお申し込みください。全行程若住職運転のマイクロバスで行きます。

日にち：9月4日(月)~5日(火) 1泊2日

参加費：15000円(1泊2食、懇志、交通費等) 1日目の昼食代別途

宿泊：築地本願寺近くのホテル

行程：1日目 10:00 西光寺出発→11:30 会場着(西新宿浄音寺)→昼食→

13:30 節談説教大会→16:30 会場出発→築地本願寺着→ホテル・懇親会

2日目 7:00 築地本願寺晨朝勤行に参拝→8:00 築地本願寺カフェにて朝食→築地市場自由散策→10:00 築地本願寺出発→11:30 西光寺着

申込：下の表に記入し、西光寺へ

締切：7月末まで(事前に打ち切る可能性もありますのでお早めに)

----- 切り取り線 -----

申込書	氏名	住所
	生年月日	年 月 日 (歳) 保険等加入の為必修

4年ぶりに <公開仏教公演云> 開催します

主催 浄土真宗本願寺派千葉組仏教婦人連盟 みのり会
後援 築地本願寺

とき 2023年 7月2日(日)

14:00~16:00 (開場 13:30)

ところ 千葉県教育会館 大ホール

千葉市中央区中央 4-13-10 043-227-6141

(千葉駅からモノレール[県庁前]行き終点から徒歩5分)

参加費 無料先着 500名様・自由席

お問い合わせ 047-335-8801(浄興寺・渡邊)

※西天宮団体では行きません。各自で行って下さい。

金子みすゞ物語

の二本立て

浄瑠璃 親鸞様のご生涯と 恵信尼さま



川口幸子(ヴァイオラ) 城谷小夜子(女優) のの梅(歌手)



モノレール、終点「県庁前」から、橋を渡り、川沿いを歩いて五差路を左折。立体駐車場の隣。向いは裁判所。徒歩5分

こぶしの花



どなた様も、予約なしで自由にご覧いただけます。どうぞぜひおいで下さい。

存在 『大経』十五

前回の六神通で機己の中身を知れば、摂取の目当てが私であつたと気付くのです。そうであれば十一願の正定聚七五に住七五つて必ずお浄土に往くのです。これを必至滅度の願と言います。孫子の兵法書の初めに「敵を知り己を知れば百戦して危うからず」とあります。私たちの場合は、敵を知るのは仏法を学ぶことであります。しかしながら肝心要は己かみを知ることです。人生色々な難儀なことが有つても己を知っていれば元に不退転戻らないの位にあるのです。不退転とは信心知るが定まった状態の事です。親鸞聖人は「信心定まるとき往生また定まる也」と言われています。この往生が定まることを正定正性決定といい、そう言う人々の集まりを聚と言います。御同朋御同行は必ずお浄土衆りの世界に往くのです。

十一願必至滅度の次が十二願無量光と十三願無量寿です。大変意味のある並びです。滅度覚りに至れば無量の智慧光と喜び寿が有ると言う事です。また、阿弥陀仏自身が輪廻転生して次から次へと生まれてくる際限のない衆生を済度摂取するための力量を持つためと考えられます。この二つの願は久遠実成を示しています。やはり仏教の諸行無常限ある事を百千億那由他印度の教の単位の大きき長さとして表現しております。人間にとって単に測り知れない無量光と無量寿であります。

十二願は智慧を光で表し、届かないところはどこにもないと言います。遮さへきることのできない光です。どんな人でも納得できる智慧縁起です。今日いまの前で起こっている、起こりつつある現象です。「在ある」を意味します。光は常に届いていて「見る」を意味します。過去も未来も想像できますが、見ることは出来ません。現在、在野と言うように平面的な在り方で、座標では横軸面に当たります。十三願は時間を寿命で表現しています。物理的時間は、過去未現在過未来へと移り行く現象です。「存ある」を意味します。言葉や音楽は時間の流れで語られます。つまり私たちの耳は時間の流れを聞いているのです。時間は「聞く」を意味し、慈悲法話をも示します。聞き逃さないことが智慧信知です。人の話は「初、中、終」と同時に聞くことは出来ないのです。このように時間

は垂直的な存り方で、座標の縦軸に当たります。縦軸時間と横軸平面が交差している処を「存在」と言います。この両願で阿弥陀仏は方眼紙の交点部分のように何時でも何処でも私たちの傍そばに存在いまいるなのです。親鸞聖人は「正信偈」の初めに慈悲・聞く・時間と智慧・見る・光を二つ並べて南無阿弥陀仏が存在する事を確信してあるように思えます。故に私たちは疑うことなく行住坐臥いつでもどこでも報恩感謝の南無阿弥陀仏と讃十七願えるのです。

住職多感

昨日(五月二十八日)、若住職の運転でマ
イクロバスによる築地本願寺降誕会団体参
拝が行われた。約二十名、朝九時前に出発
して夕方四時過ぎに西光寺に帰ってきた。
私と坊守は留守番であった。初めてのこ
とで、坊守は孫のことばかり心配していた。
「弁当持たすればよかった」。

本来二十一日の降誕会が、今年に限って
二十八日になったのは御誕生八百五十年・
立教開宗八百年の慶讃法要が京都ご本山で
勤まり、二十一日はその最終日であったた
め。

来年四月には築地本願寺で慶讃法要が勤
められる。その参拝要領が明らかになれば
またお報せします。ご一緒しましょ。

檀家という言葉は浄土真宗にはない。門
徒という言葉がある。寺(道場)に集う人々
のことを門徒衆と呼ぶ。その門徒衆に私の

体調のことでご心配して頂いている。あり
難いことだが私本人は少しも心配していな
い。ただ脚力がこの一年極端に衰えてきて
いる。それで歩くことがヘタクソになって
いるだけのことだ。それと入れ歯が上手く
かみ合わないときに滑舌が悪くなったりし
ているので、脳梗塞の疑いをもたれてしま
うようだが、MRIの検査で何の不安もな
いと医者からはつきりと言われている。た
だ私も七十二歳の年寄りだとはいえ、八十
九十の先輩に心配おかけしているのが申し
訳ないのだ。

パソコン・スマホを普通に皆が使いこな
している。けれど苦手とする者にとっては、
便利な筈が、全く逆に不便そのものになっ
てしまっている。スマホの機能にラインと
いうのがあって、その他いろんな機能があ
るのだが、使えれば便利というものばかり
で、そうでない者にはまったく不便で不自
由な時代になってしまった。嫌なものだ。

七日の行事

十二日(水) 常例法座

二十三日(日) 日曜法座

十三日から、各御家庭への
お参りを始めます。予定です。
申し込みのハガキは東月号
でよ送ります。

御辰朝

毎朝六時半より

発行

浄土真宗本願寺派(西)

西光寺

〒二九〇一〇〇二四

千葉県市原市根田

七三二一

TEL. 0436-22-7412

FAX. 0436-24-1652

HP. <https://www.saikohji.net>

MAIL saikohji@saikohji.net